

≪川越特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・学科	小・中学部 高等部	R4.5.1 児童・生徒数	(男) 188 (女) 80	計 268
アクセス	J R川越線南古谷駅より徒歩30分 西武新宿線本川越駅、東武東上線・J R川越線川越駅東口より西武バス川越グリーンパーク行き古谷上バス停下車徒歩10分					
<教育課程等>						
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の障害や発達に応じた、持てる能力の開花を積極的に図る教育活動。 ・高等部では、認識・社会性及び将来の進路を見据え、「職業」を3つのグループに分けて実施。一人ひとりに合わせた作業学習を実施。 						
<学校行事・部活動>						
<ul style="list-style-type: none"> ・学部、学年を超えた仲間の中で、協力し合い楽しみながら取り組む運動会。 ・小・中・高のステージ発表やゲーム等で盛り上がる文化祭(かわY O! 祭)。 ・特別支援学校陸上競技大会・バスケットボール大会・サッカー大会に、選抜した選手が出場。 ・遠足、宿泊学習、野外体験学習、社会体験学習、交流会、進路見学、産業現場等における実習などを通じた経験領域の拡大。 						
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学部 国語</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中学部 調理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高等部 数学</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学部 修学旅行</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中学部 社会体験学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高等部 修学旅行</p> </div> </div>						
<家庭・地域との連携>						
<ul style="list-style-type: none"> ・各学部、学年ごとの授業参観を年1回以上実施 ・11月には土曜授業参観を実施 ・保護者向け進路説明会や施設見学会の実施 ・近隣小学校との交流及び共同学習 ・市内合同学芸会発表 						
<進路>						
<ul style="list-style-type: none"> ・就職は1割、施設などの利用が9割となっている。 【企業就労】サービス業(スーパー・食品の品出し、前出し)、特例子会社(ベッドメイキング、清掃) 【福祉的就労】川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、川島町、上尾市、狭山市、さいたま市、志木市の障害者支援施設に就労 小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部へ進学している。 						



県立川越特別支援学校～児童生徒の育成方針～

《概要》

- ・昭和47年4月、県下初の知的障害児が通学する県立学校として開校
- ・小学部、中学部、高等部の3つの学部
- ・個々の障害や発達に応じ、持てる能力の育成を図る教育活動
- ・児童生徒は、1市1町からスクールバスや電車、路線バス等を利用して通学
- ・平成20年4月、県立川越初雁高校内に川越たかしな分校（高等部単独）開校
- ・平成21年4月、条例改正により埼玉県立川越特別支援学校に校名変更

《学校行事》

運動会・かわYO!祭は、小学部・中学部・高等部合同で行われます。例年大盛況です。



【小学部】

- 「自分でやってみよう」
- 「元気な体をつくろう」
- 「友だちと楽しくあそぼう」



学校教育目標

まなぼう つくろう つなげよう

目指す学校像

豊かな学びで児童生徒の可能性を伸ばし、自立と社会参加に向けた生きる力を育み、共生社会の実現に向けて地域と連携する学校

重点目標

- 1 障害特性を踏まえた指導の充実と豊かな学びの実現
- 2 開かれた教育課程と共生社会の実現に向けた地域との連携及び情報発信
- 3 自立と社会参加に向けたキャリア教育の充実
- 4 尊敬と対話に基づく安心・安全な学校づくり

【中学部】

自分で考え行動する。
健康な心と身体をつくる。
仲間と協力する。



【高等部】

共生社会を目指し、生きる力の基礎を育む
～生涯学習の基、健康で豊かな人生を楽しめる
主体的な青年を目指して～

- a 社会参加に向けた進路の充実
- b 社会に開かれた教育課程の実現
- c 専門的な教科指導
- d 生徒指導の充実



《地域との連携～共生社会の実現に向けて～》

- ◎地域における理解者・支援者を増やし、児童生徒が卒業後も自身の力を最大限に発揮できる地域づくり
- ・福祉・医療・労働などの関係機関と連携した支援の充実
- ・支援籍学習の拡大と充実
- ・交流及び共同学習(学校間交流)の充実(川越市立古谷小学校、埼玉県立川越総合高校)
- ・小中学校・高等学校教員等への支援・研修協力による障害理解の推進
- ・公開講座・ボランティア講座の充実による地域への情報発信と理解推進
- ・地域の社会福祉協議会との連携・協力

《作業学習》

中学部・高等部には『作業学習』があります。
「農園芸」・「紙工芸」・「手工芸」・「木工」・「陶芸」の5つの作業班で活動しています。
作業学習は、実社会につながる学習です。それぞれ専用の特別教室があり、設備内容の充実度は、県内でもトップクラスです。製品は、文化祭などで販売し、大変好評を得ています。



《中：クラブ活動》

中学部にはクラブ活動があります。
運動部・ダンス部・レクリエーション部・科学芸術部

《高：クラブ活動》

高等部で総合的な探求の時間に取り組んでいます。
太鼓部・ダンス部・球技部・運動部
ウォーキング部・芸術部・ゲーム部・レク部
希望者をつのり、特体連の大会に参加しています。